

2004年11月11日(木)

# 第1部 2004年度中間決算概要及び 2004年度業績予想

専務執行役員 木下幸雄

# 当中間期業績の評価

## 前年同期比

- ・受注高、売上高は中間期として過去最高
- ・営業利益、経常利益、中間純利益とも  
中間期2期連続過去最高更新  
(営業利益 200億円、中間純利益 100億円達成)

## 5月時点 予想対比

- ・受注高 15%増、全セグメントで増加
- ・売上高 6%増、船舶・鉄構除き増加
- ・営業利益 標準・量産大幅増により100億円増

## 財務目標

- ・有利子負債残高 1,815億円、総資産比率33%  
← 中期見直目標(2004年度末2,000億円)を  
前倒しで達成

# 2004年度上期 業績サマリー

単位: 億円

	2004年度上期		2003/上 (実績) ③	(前期差) ①-③	(予想差) ①-②
	(実績) ①	(5月予想) ②			
受注高	2,886	2,500	2,445	441	386
売上高	2,381	2,250	2,128	253	131
営業利益	213	110	137	76	103
営業利益率	8.9%	4.9%	6.4%	2.5%	4.0%
経常利益	224	100	109	115	124
経常利益率	9.4%	4.4%	5.1%	4.3%	5.0%
特別損益	<b>△43</b>	<b>△20</b>	<b>△33</b>	<b>△10</b>	<b>△23</b>
中間純利益	109	50	46	63	59
中間純利益率	4.6%	2.2%	2.2%	2.4%	2.4%

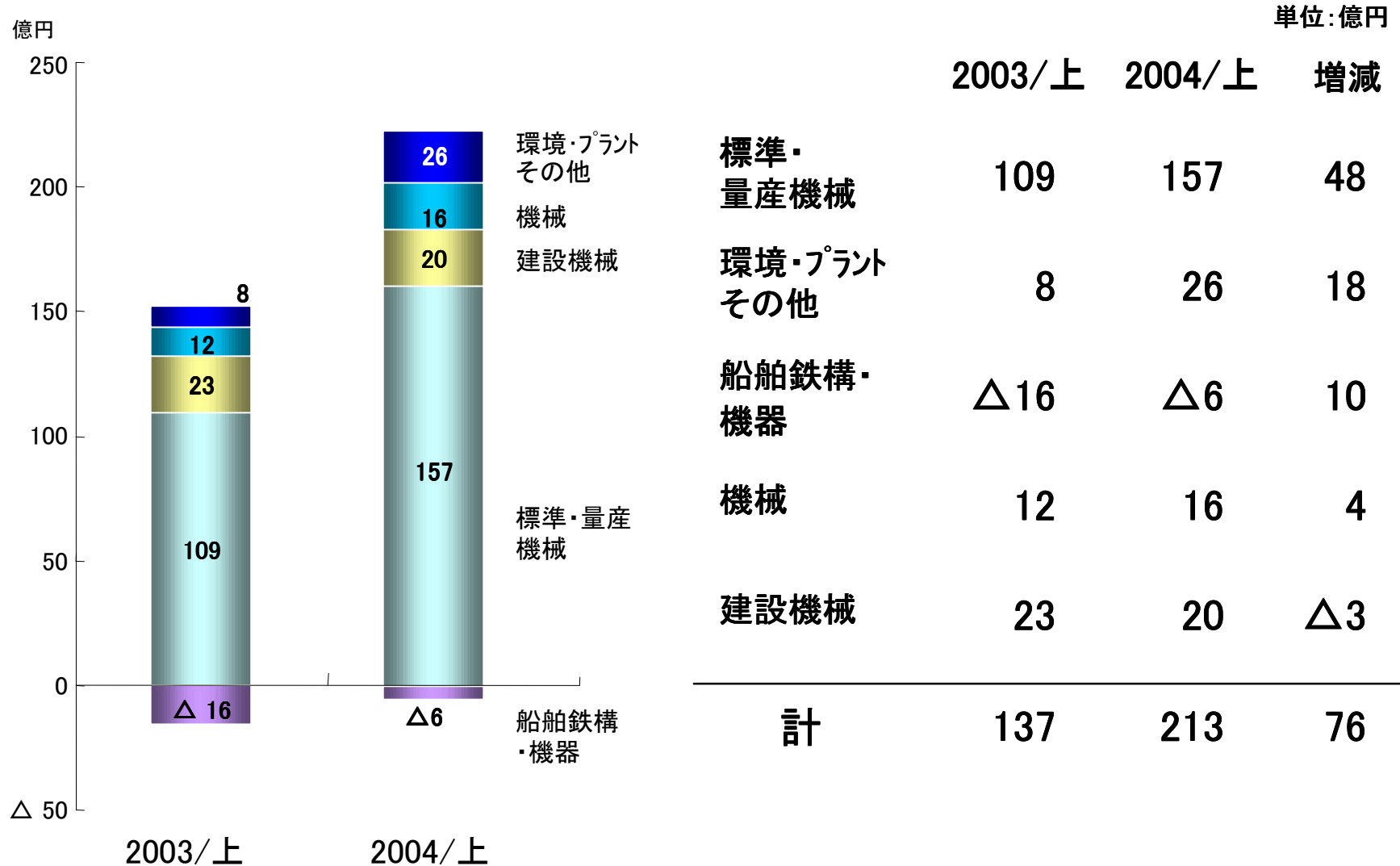
## (前期差)

- ・受注高: 全セグメントで増加。特に機械、標準・量産大幅増
- ・売上高: 機械、標準・量産、建機増加で12%の増
- ・営業利益: 標準・量産中心に大幅好転
- ・特別損益: 固定資産除却損、クレーン生産移管損失計上

## (予想差)

- ・受注高: 建機、船舶鉄構、標準・量産で増
- ・売上高: 標準・量産、建機で増
- ・営業利益: 標準・量産中心に大幅好転
- ・特別損失: 固定資産除却損、クレーン生産移管損失計上

# セグメント別営業利益



# 特別損益内訳

単位: 億円

	2004/上		2003/上	(前期差)	(予想差)	
	(実績) ①	(5月予想) ②	(実績) ③	①-③	①-②	
特別利益	固定資産売却益	11	8	10	2	3
	投資有価証券売却益	-	-	5	△5	-
	退職給付信託設定益	-	-	2	△2	-
	計	11	8	17	△5	3
特別損失	退職給付債務償却	△28	△28	△28	0	0
	固定資産等除却損	△19	-	-	△19	△19
	事業再編関連損失	△7	-	-	△7	△7
	販管費配賦額取崩損	-	-	△11	11	-
	特別退職金	-	-	△5	5	-
	工場再配置損失	-	-	△3	3	-
	関係会社整理損	-	-	△3	3	-
計	△54	△28	△50	△5	△26	
差引計	△43	△20	△33	△10	△23	

# 連結貸借対照表

単位: 億円

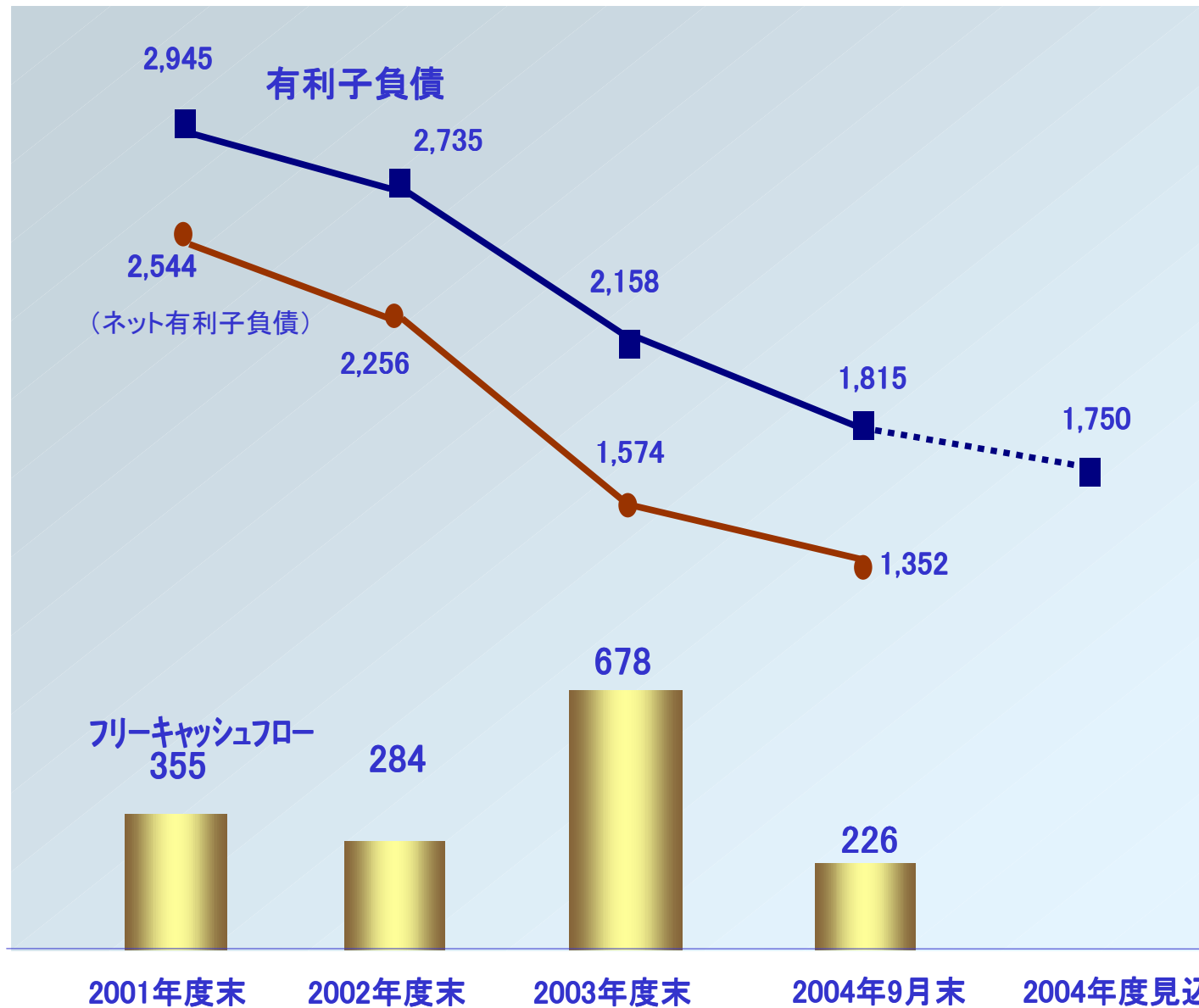
	2004/9末	2004/3末	増減		2004/9末	2004/3末	増減
流動資産	3,036	3,214	△178	負債	4,301	4,618	△317
現預金	463	585	△122	買掛債務	1,268	1,309	△41
売上債権	1,298	1,427	△129	前受金	377	287	90
たな卸資産	1,039	939	100	有利子負債	1,815	2,158	△343
その他	236	264	△28	その他	842	864	△22
				少数株主持分	40	39	0
固定資産	2,547	2,589	△42	資本	1,243	1,145	97
有形固定資産	1,862	1,876	△14	資本金	309	309	0
無形固定資産	35	31	4	資本剰余金	168	168	0
投資その他の資産	651	682	△32	利益剰余金	307	198	109
				土地再評価差額金	454	455	△1
				有価証券評価差額金	41	54	△13
				為替換算調整勘定	△35	△38	3
合計	5,583	5,803	△220	合計	5,583	5,803	△220
				有利子負債比率	32.5%	37.2%	△4.7%
				株主資本比率	22.3%	19.7%	2.6%

# 連結キャッシュフロー計算書

単位:億円

区分	2004/上	2003/上	増減
<b>営業活動</b>	<b>261</b>	<b>313</b>	<b>△52</b>
運転資本	89	268	△179
事業収益	230	119	111
その他	△58	△74	16
<b>投資活動</b>	<b>△35</b>	<b>△19</b>	<b>△16</b>
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>226</b>	<b>294</b>	<b>△68</b>
<b>財務活動</b>	<b>△345</b>	<b>△266</b>	<b>△79</b>
<b>現金・現金同等物増減</b>	<b>△119</b>	<b>27</b>	<b>△146</b>
<b>現金・現金同等物期末残高</b>	<b>458</b>	<b>503</b>	<b>△46</b>

# 有利子負債推移



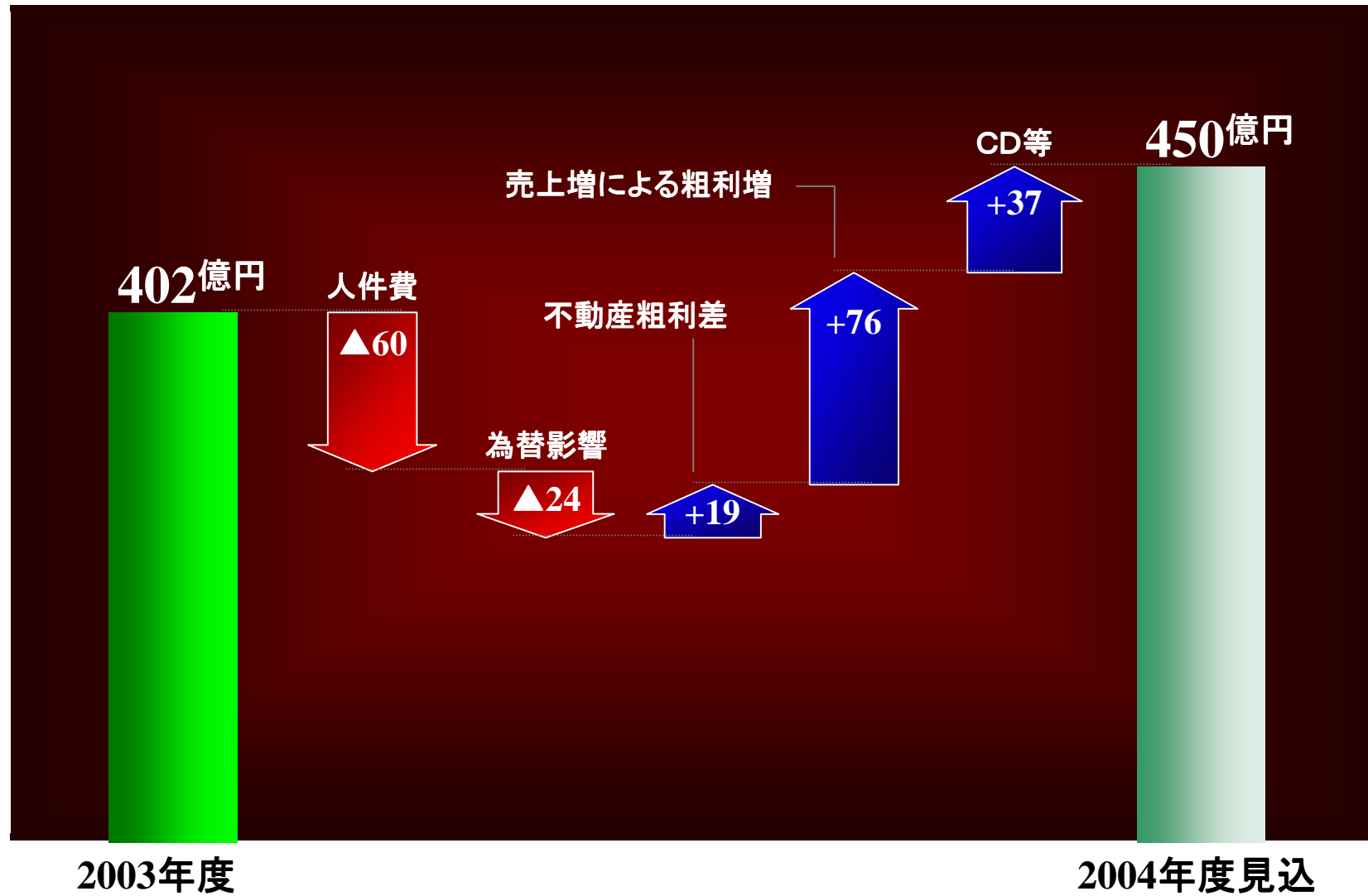


# 2004年度業績予想

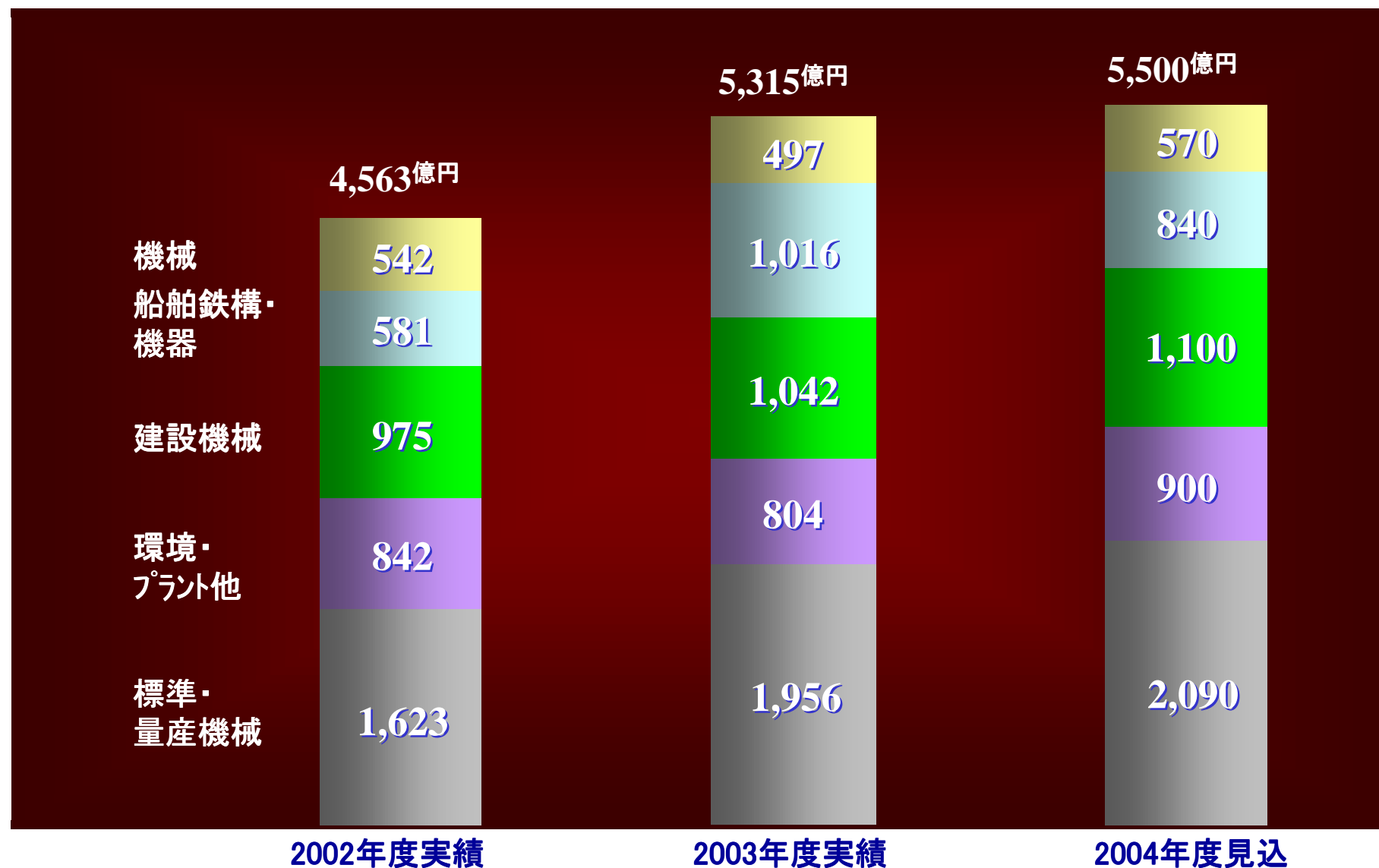
単位: 億円

	2004上期 実績	2003上期 実績	増減	2004年度 見込	2003年度 実績	増減
受注高	2,886	2,445	441	5,500	5,315	185
売上高	2,381	2,128	253	5,200	4,828	372
営業利益	213	137	76	450	402	48
営業利益率	8.9%	6.4%	2.5%	8.7%	8.3%	0.4%
経常利益	224	109	115	430	319	111
経常利益率	9.4%	5.1%	4.3%	8.3%	6.6%	1.7%
特別損益	△43	△33	△10	△100	△144	44
当期利益	109	46	63	200	163	37
当期利益率	4.6%	2.2%	2.4%	3.8%	3.4%	0.4%
ROIC (税引後)				7.8 %	6.5%	1.3 %
織込レート(ドル)			(上期実績)	109円	112.5円	
			(下期)	105円		

# 2003年度－2004年度営業利益増減



## 受注実績・予想



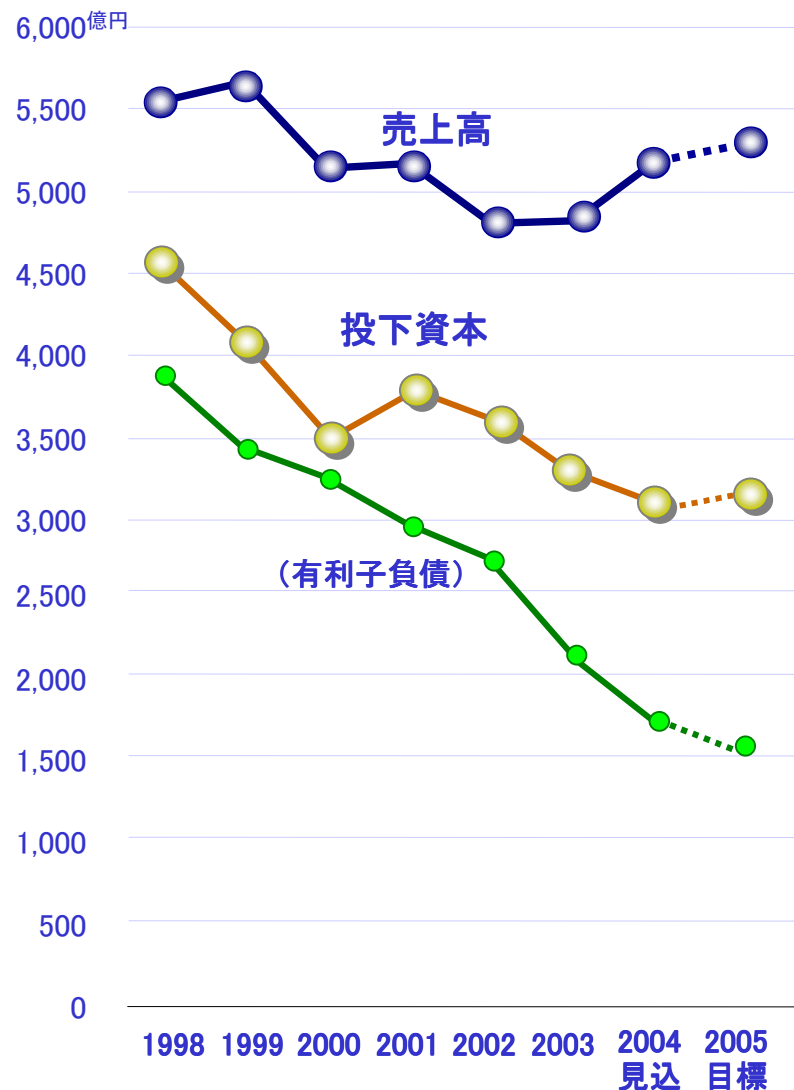
# 2004年度セグメント別売上高、営業利益予想

単位：億円

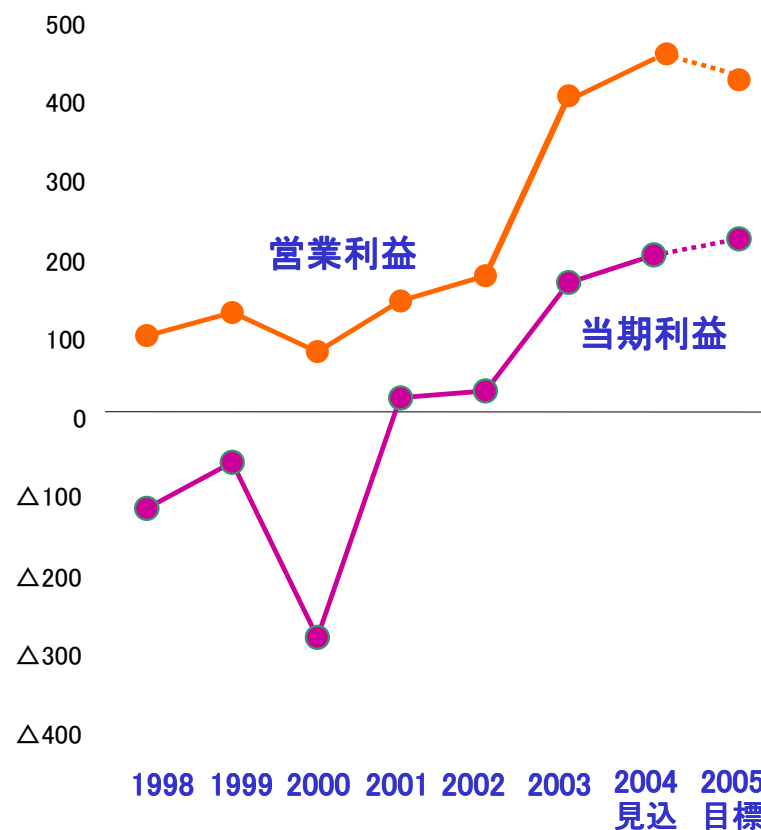
		2004上期 実績	2003上期 実績	増減	2004年度 見込	2003年度 実績	増減
標準・量産 機械	売上高	987	859	128	2,020	1,845	175
	営業利益	157	109	47	290	260	30
	営業利益率	15.9%	12.7%	3.2%	14.4%	14.1%	0.3%
環境・プラント その他	売上高	343	356	△13	910	877	33
	営業利益	26	8	18	70	46	24
	営業利益率	7.7%	2.3%	5.4%	7.7%	5.2%	2.5%
船舶鉄構・ 機器	売上高	253	238	14	630	634	△4
	営業利益	△6	△16	10	5	15	△10
	営業利益率	△2.2%	△6.5%	4.3%	0.8%	2.4%	△1.6%
機械	売上高	254	200	54	560	460	100
	営業利益	16	12	4	35	29	6
	営業利益率	6.1%	5.9%	0.2%	6.3%	6.3%	0.0%
建設機械	売上高	545	475	70	1,080	1,012	68
	営業利益	20	23	△3	50	52	△2
	営業利益率	3.7%	4.8%	△1.1%	4.6%	5.1%	△0.5%
合計	売上高	2,381	2,128	253	5,200	4,828	372
	営業利益	213	136	76	450	402	48
	営業利益率	8.9%	6.4%	2.5%	8.7%	8.3%	0.4%

# 2005年度 業績目標

## 売上高・有利子負債



## 営業利益・当期利益



2005年度 当期利益増を目指す



2004年11月11日(木)

## 第2部 経営戦略

...中期経営計画の進捗

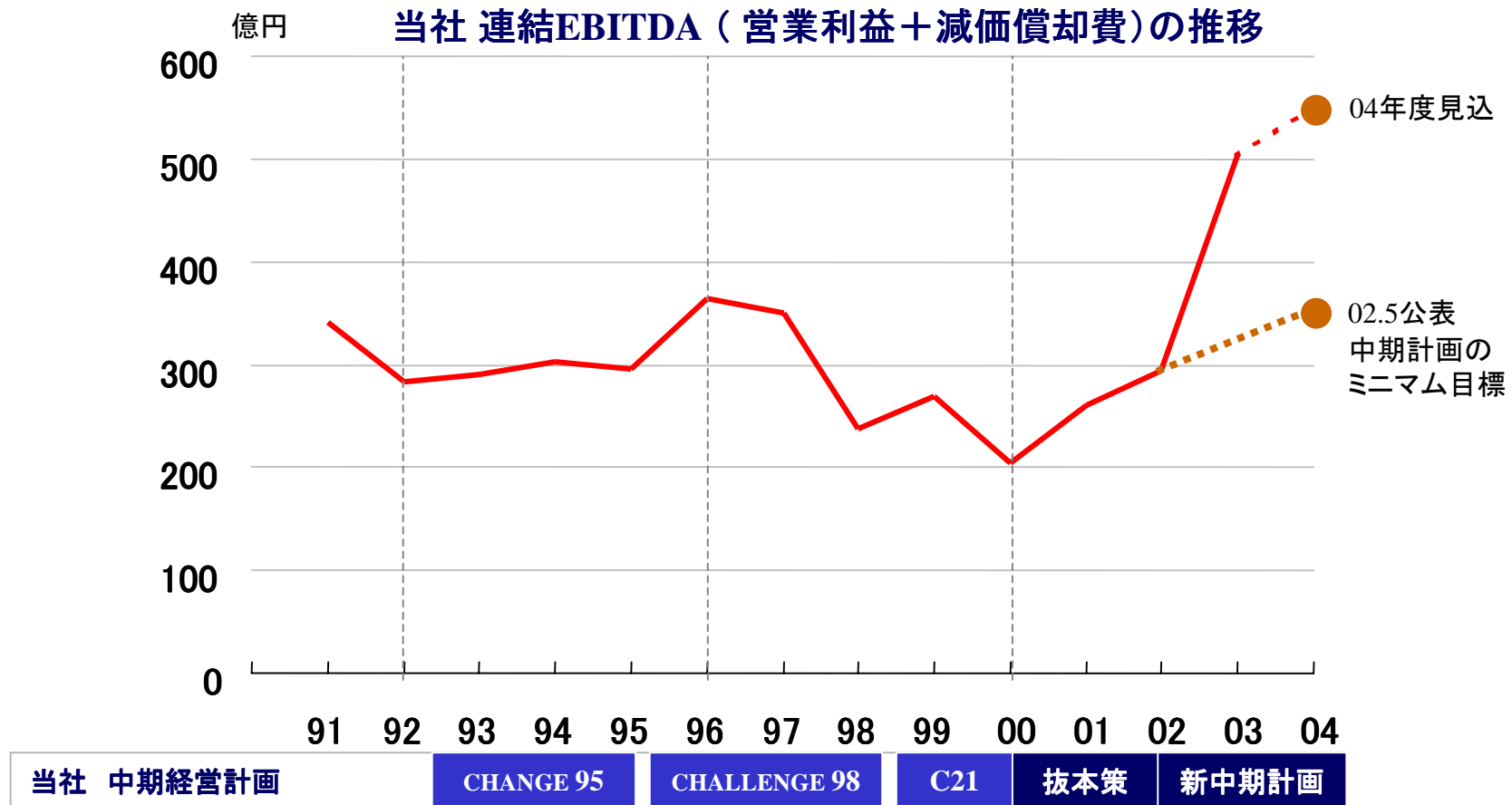
社長 日納 義郎

# I . 2004年度上期 経営実践の総括



# 中期計画の進捗

- 2000年度からの構造転換が現場レベルで進展



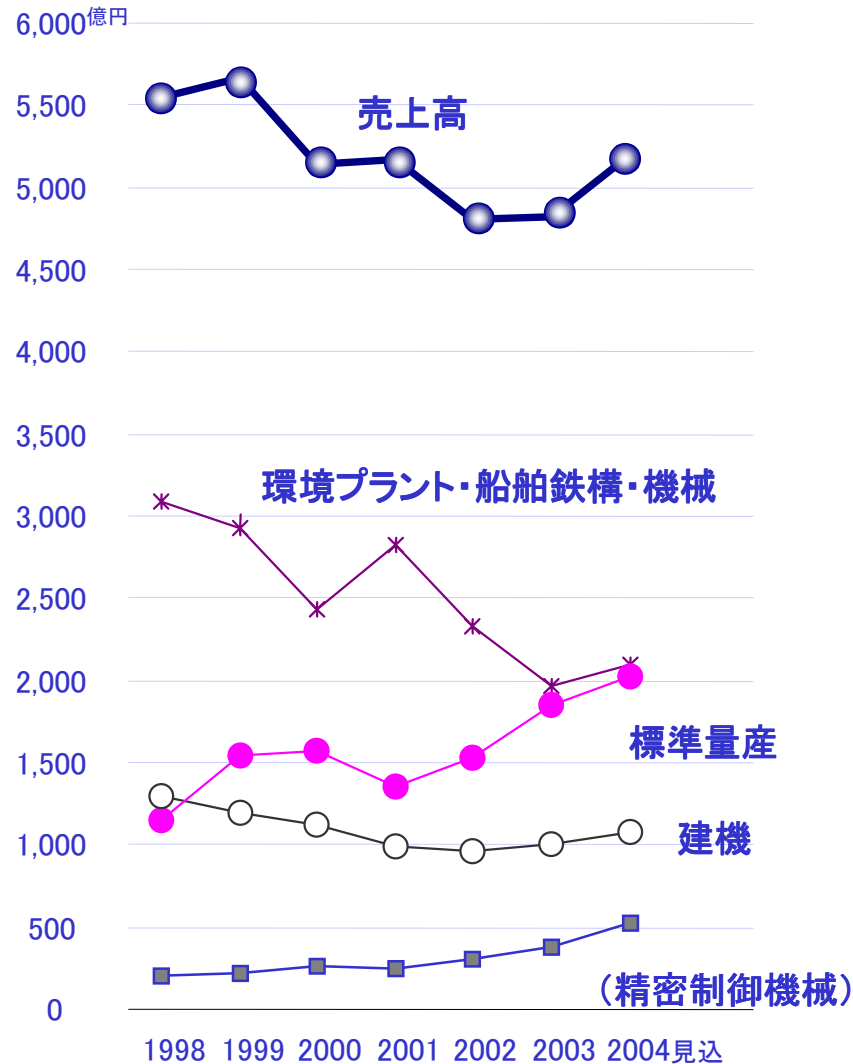
# Check Point

---

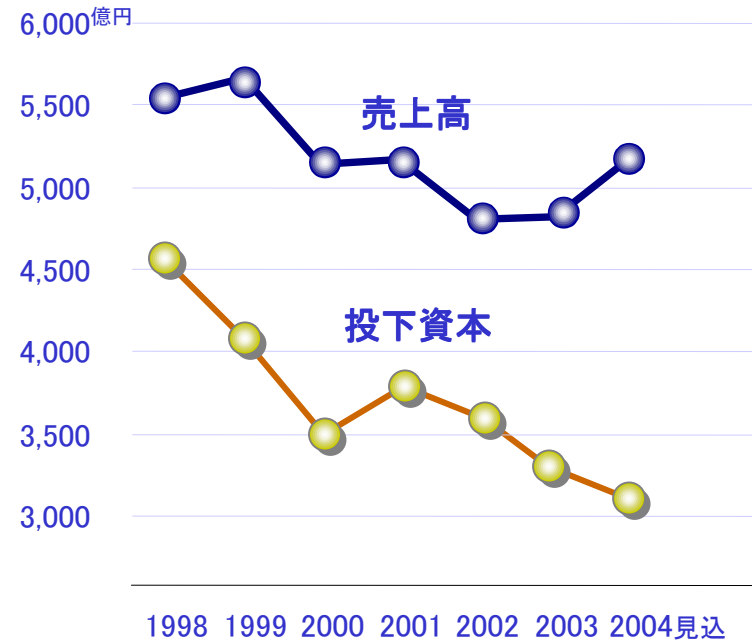
- ▶ 何が強くなったのか？
- ▶ これからの成長とその源泉は何か？
- ▶ 成長実現のために何に取り組むか？

# 事業構造変革の進捗

## 売上構成の変化



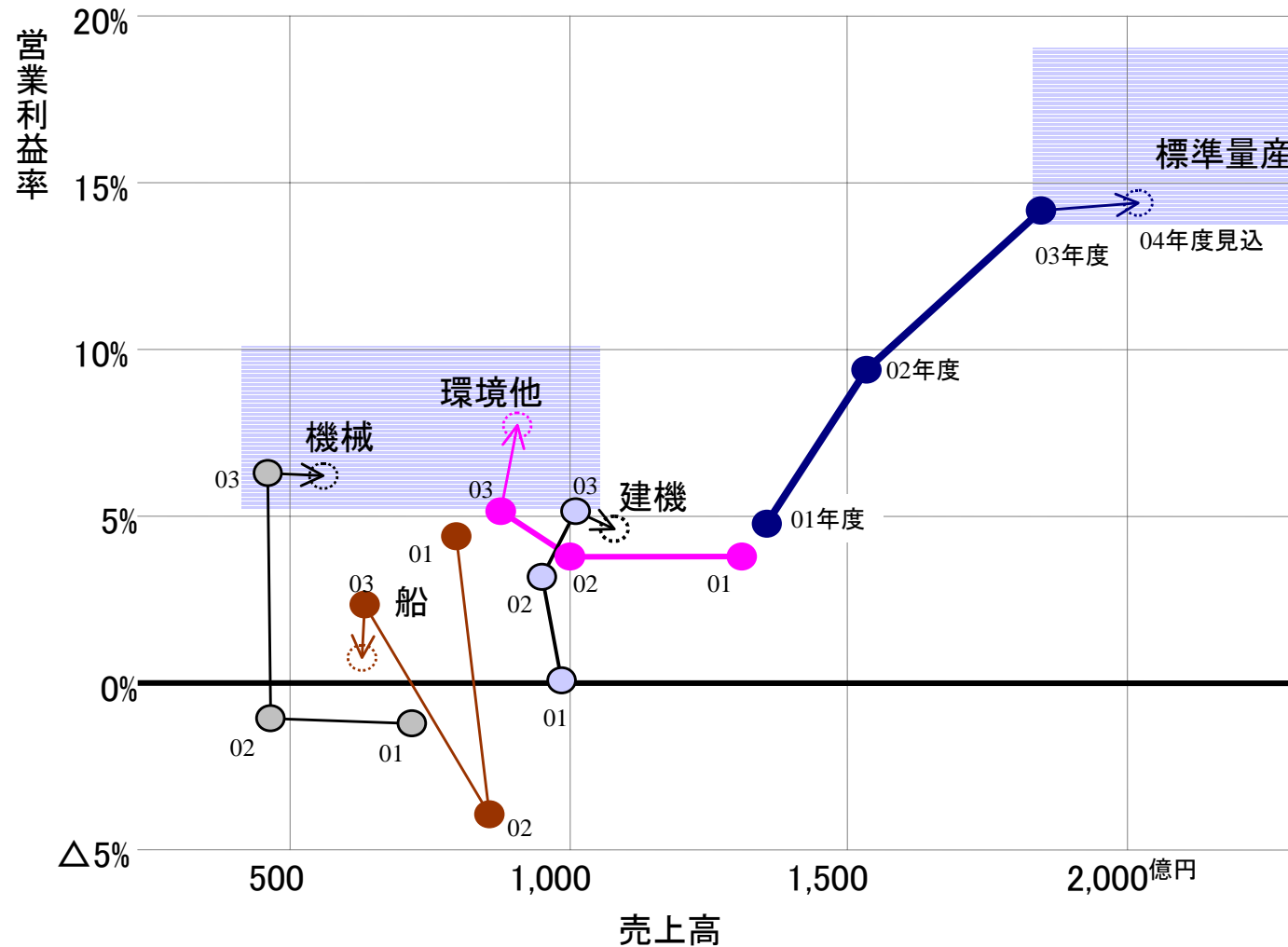
## 投下資本の効率化



1. マネジメントのレベルアップ
2. オペレーション改善進捗
3. 商品力、営業力が強くなってきた

# セグメント別収益性の改善（1）

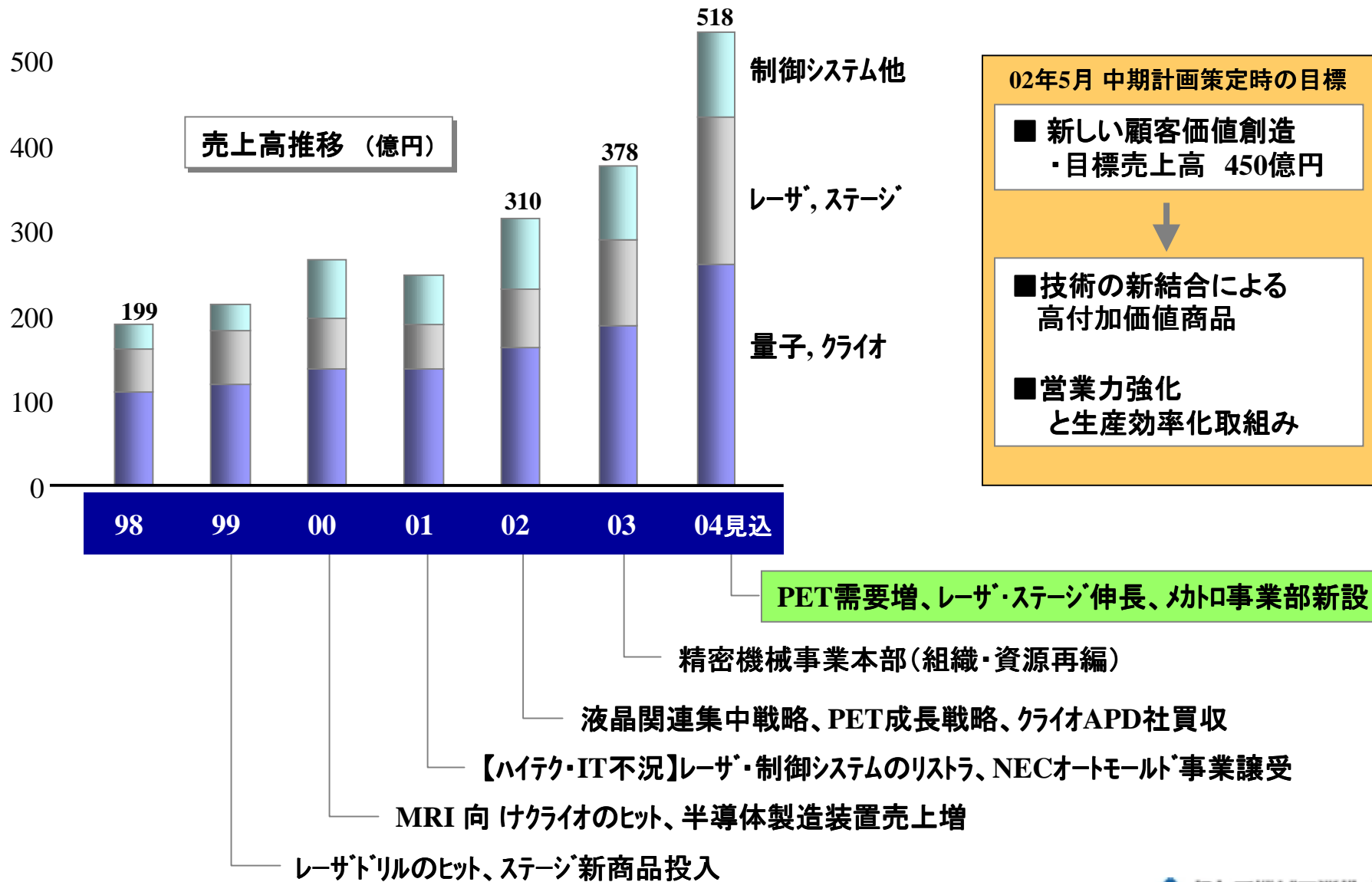
- 有利子負債削減・不採算事業リストラ・成長分野シフトの同時達成



## セグメント別収益性の改善（2）

	01年／04年度比較	改善の進捗	今後の収益拡大
標準・ 量産機械	売上高 +664億円 営業利益+225億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精密制御事業の成長 プチ機、PTC成長回復</li> <li>・価値連鎖による省投資</li> <li>・シックスシグマ効果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メカトロコンポーネント 事業の育成強化</li> <li>・プチ機、PTCもさらに 収益成長余地あり</li> </ul>
環境・プラント その他	売上高 △400億円 営業利益+ 20億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクマネジメント強化</li> <li>・ボイラ関連事業強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水処理関連投資強化</li> </ul>
船舶鉄構・ 機器	売上高 △167億円 営業利益△ 30億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤字下振れリスク削減</li> <li>・生産革新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・05年度から収益改善</li> <li>・マリンエンジニアリング</li> </ul>
機械	売上高 △161億円 営業利益+ 44億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品力、サービス力強化</li> <li>・新日造の業績改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アジア市場</li> </ul>
建設機械	売上高 + 94億円 営業利益+ 51億円	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生計画進展</li> <li>・商品力強化、価格アップ</li> <li>・クレーンは日立建機JV</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品／新モジュール 開発</li> </ul>

# 精密制御機械・コンポーネント事業の成長



# 機械セグメント変革事例～運搬機械の変革

旧型塔型水平引き込みクレーン



パイプラス、板桁構造の組合せ  
普通鋼材使用し、重い。

交流二次抵抗制御(巻線モータ)

納期 12～14ヶ月

生産工数重視型の事業運営

基盤技術改良

製品アーキテクチャ  
の変革

ビジネスモデル変革

生産革新

新型ジブクレーン  
(塔型水平引き込みクレーン)



モジュール化、コンパクト化、保守性向上  
高張力鋼材使用、軽量化

交流インバータ制御(かご型インバータモータ)

納期 8ヶ月～10ヶ月

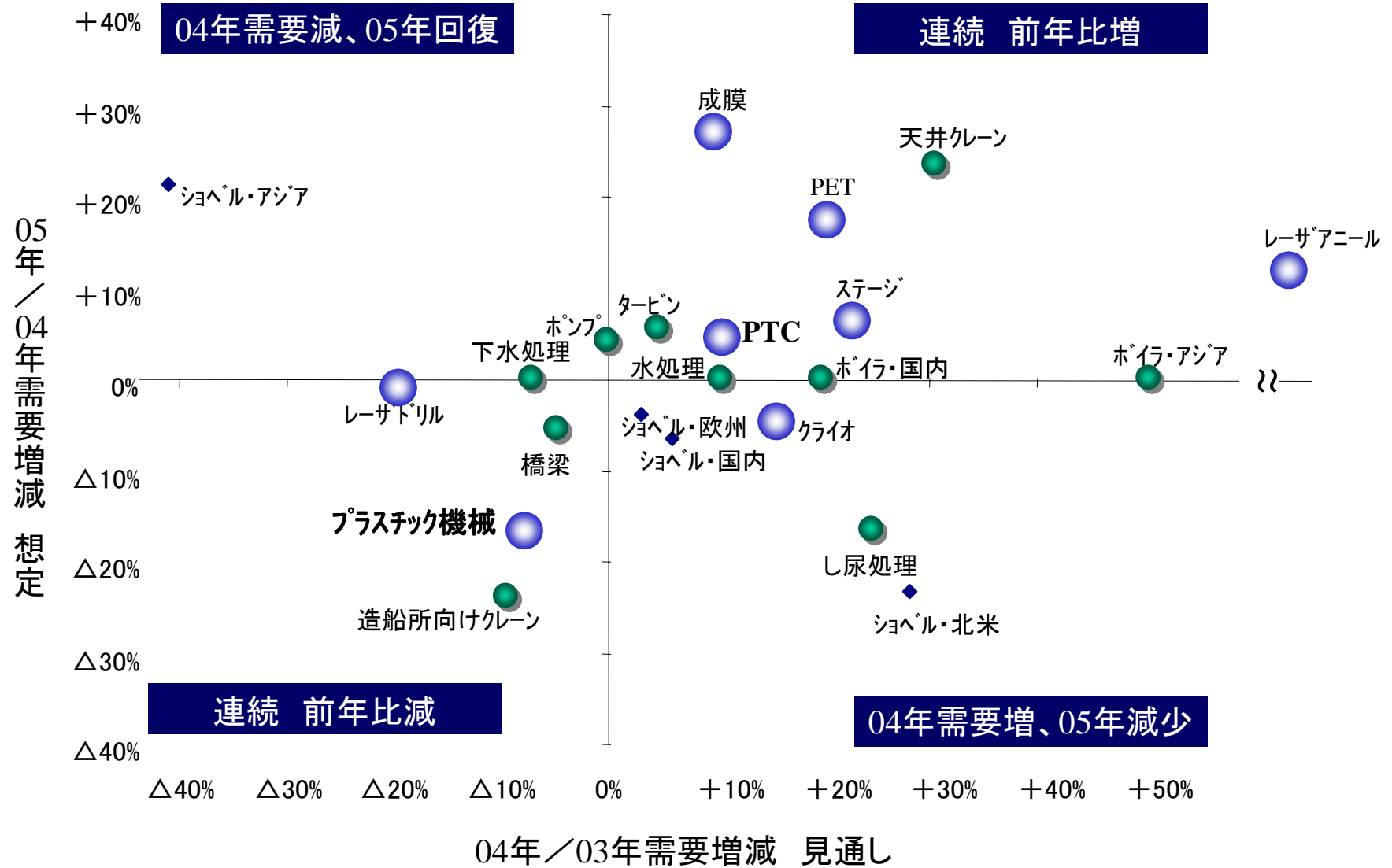
サービス・ソリューション主導の事業運営  
1個流し・モジュール生産方式



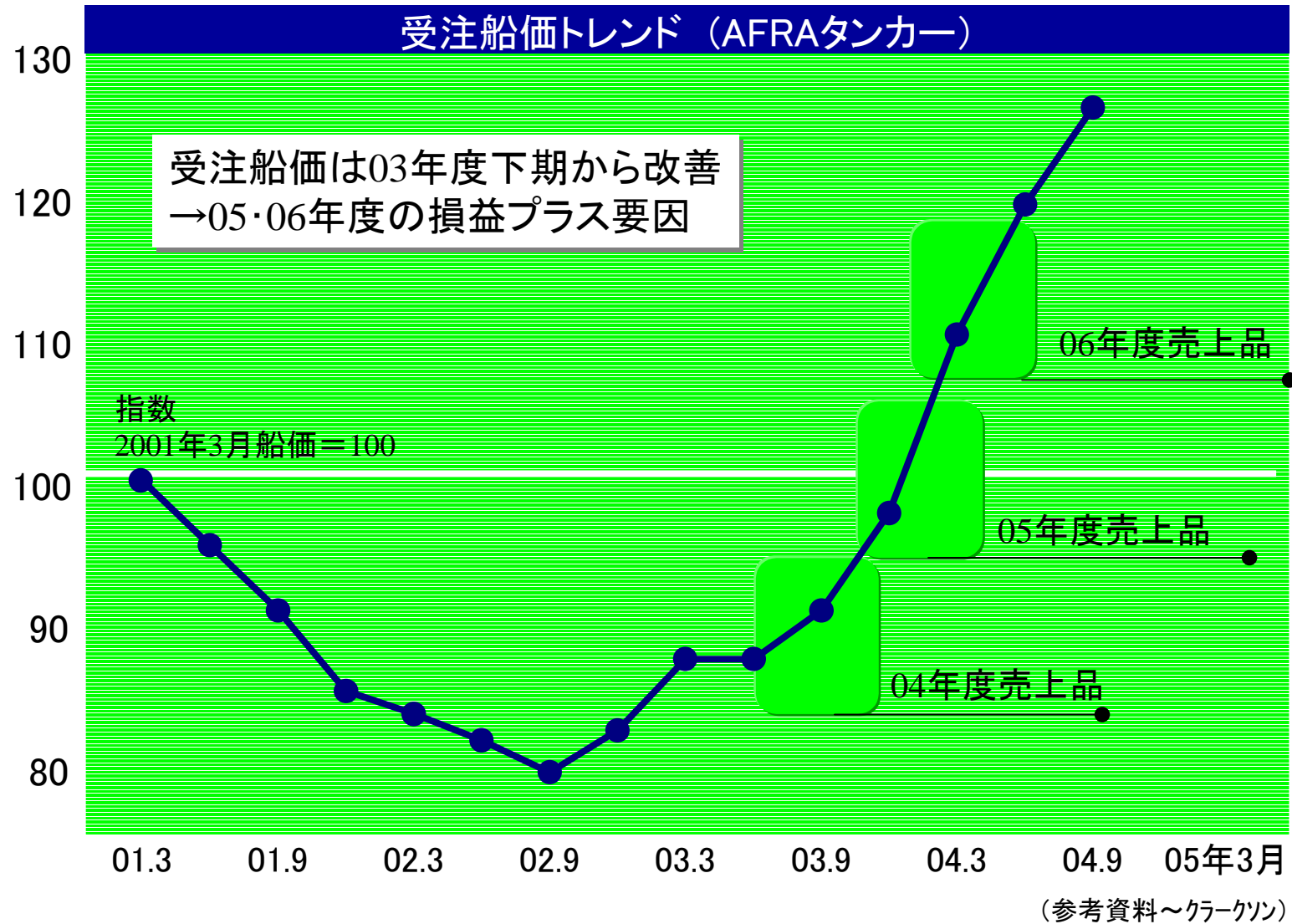


## Ⅱ．今後の取組み

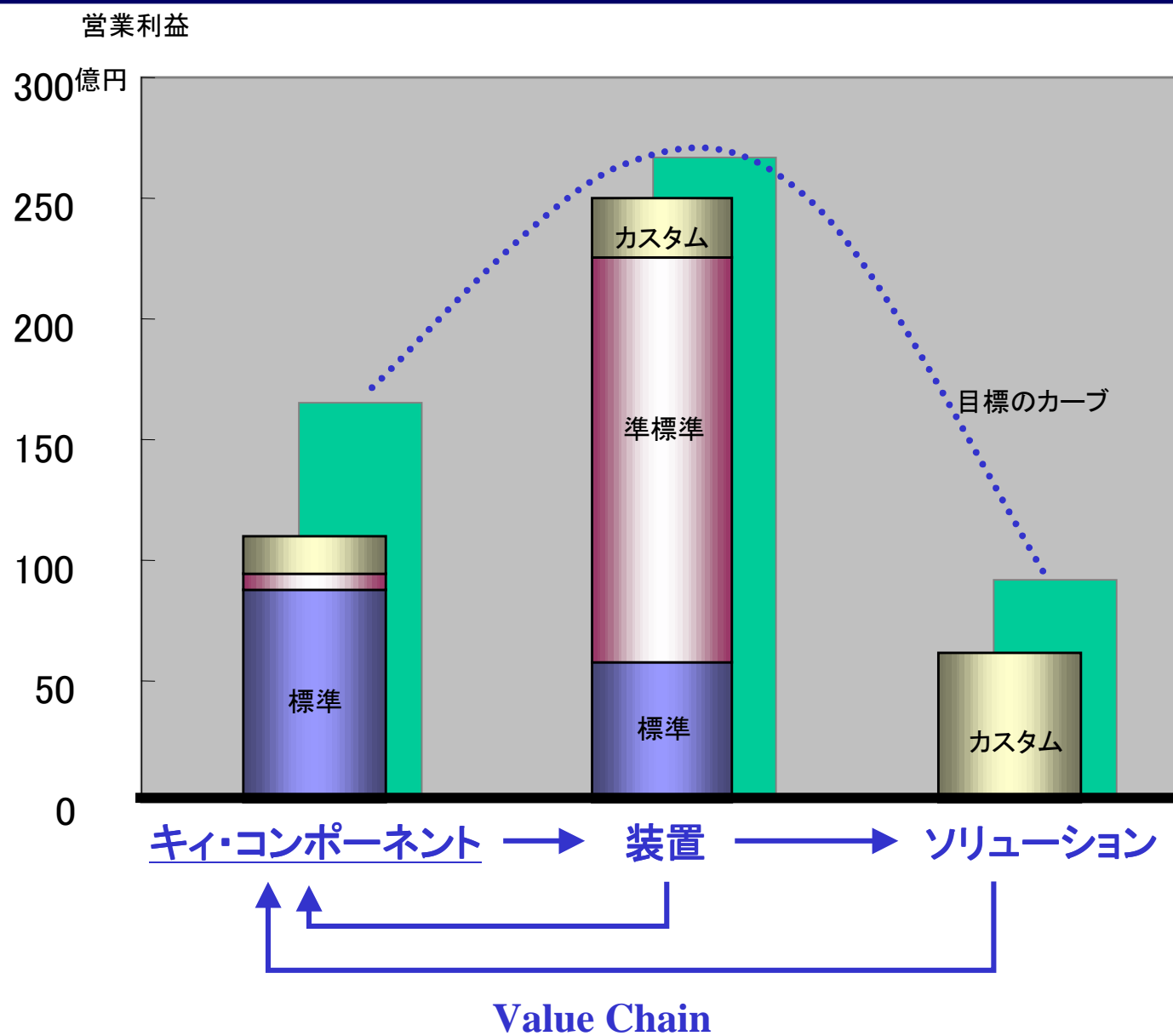
# マクロ市場環境見通し



# 造船事業の市場環境



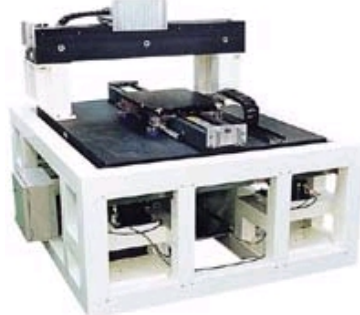
# これからの事業構造目標



# 社内技術を結合して高付加価値コンポーネントを生み出す戦略

半導体・液晶製造装置、超精密検査装置から  
大型産業機械までの[メカトロ]制御ソリューション提供

サブシステム機能アップ  
カスタム対応



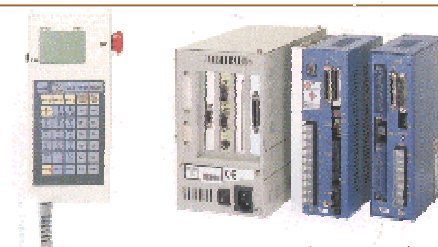
大型ガントリー  
XYZ ステージ



超精密  
XY ステージ



ボールねじ  
XY ステージ



コントローラ・ドライバー



コンポーネント  
モジュール化



1軸ステージ  
(リニアモータ  
+エアベアリング)



リニアモータ  
XY ステージ



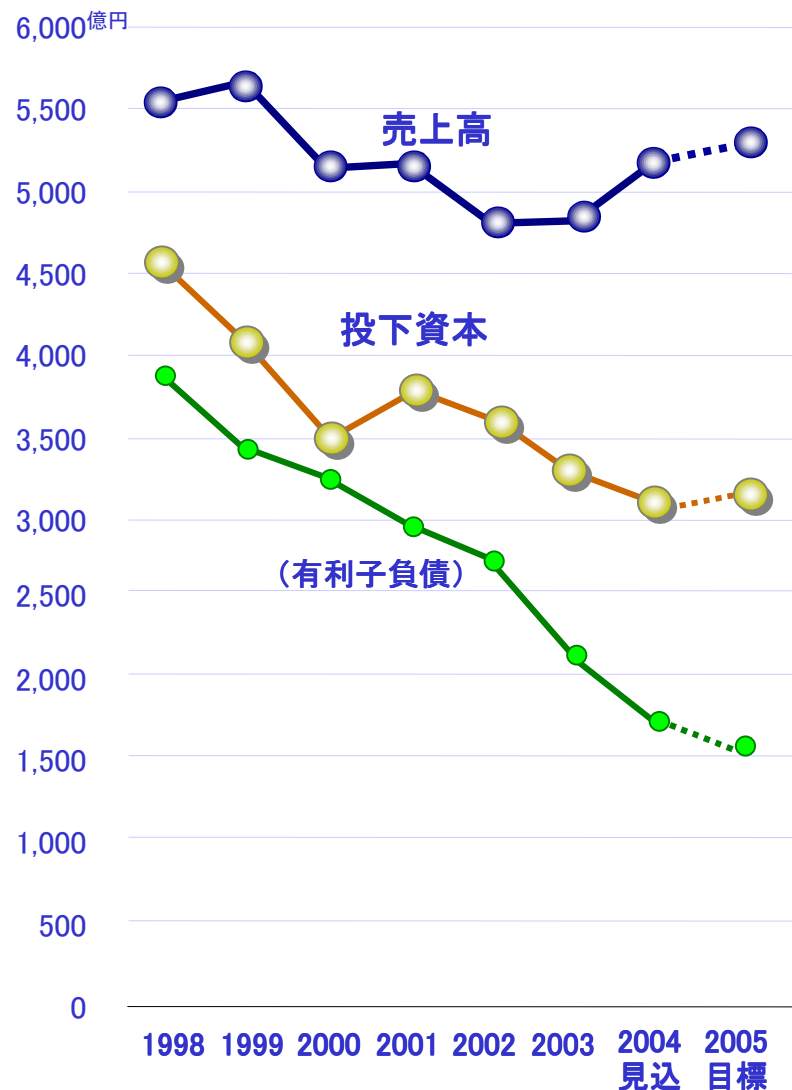
エア・アクチュエータ



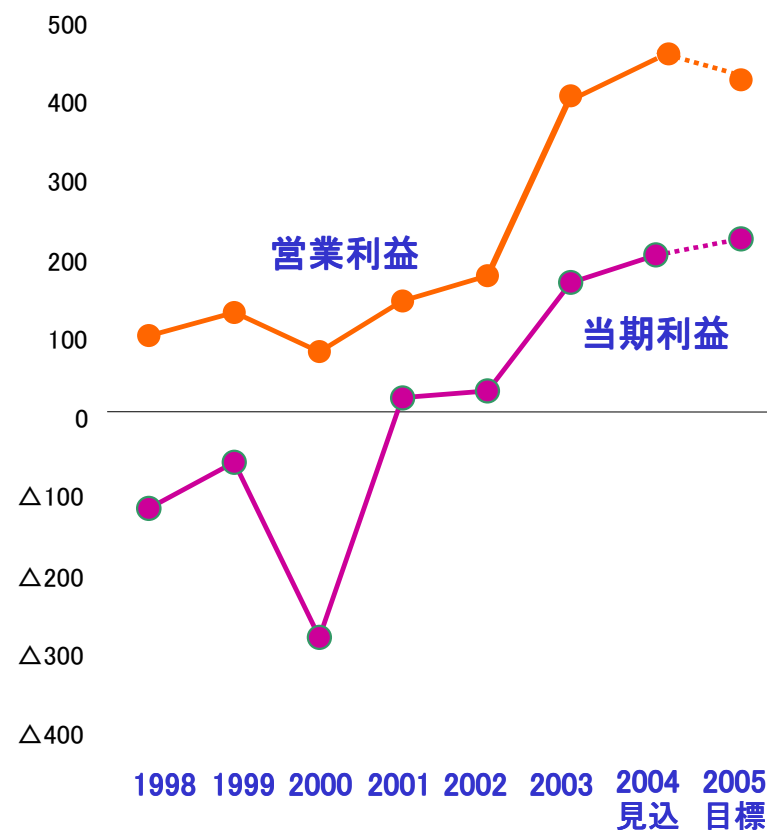
(PTC 精密サイクロ減速機他)

# 2005年度 業績目標

## 売上高・有利子負債



## 営業利益・当期利益



2005年度 当期利益増を目指す